

投票でつくる
村の明日



東海村議会議員一般選挙の投票日は 平成28年1月24日(日)です!

東海村議会議員一般選挙

告示日(立候補届出受付日)▼平成28年1月19日(火)

投票日▼平成28年1月24日(日)

投票時間▼午前7時～午後6時

立候補予定者・出納責任者予定者説明会

東海村議会議員一般選挙の立候補の届け出や選挙運動に関する説明会を開催します。

立候補を予定している方、立候補予定者の出納責任者となる予定の方は必ず出席してく

ださい。

【立候補予定者説明会】

日時▼12月21日(月)午後1時～

場所▼原子力視察研修室(役場行政棟5階)

【出納責任者予定者説明会】

日時▼12月21日(月)午後3時30分～

場所▼原子力視察研修室(役場行政棟5階)

問い合わせ

東海村選挙管理委員会(総務課内 ☎282-1711 内線1313)

ふるさと歴史訪
～歴史を再発見～

水辺のムラ東海

東海村の代表的な景観として、水辺を挙げる人は少ないと思います。しかし、今から400年前、江戸時代初期の東海村の様子は、北を久慈川が蛇行して流れ、南は深い入り江となつて、真崎浦が広がっていました。東海村は水辺の村だったので。

2年前、白方西光遺跡から、古い時代の旧石器が発見されました、このことから、東海村は3万年以上も前から、人間が住む豊かな環境であつたことが推測できます。また、縄文から弥生期のものとしては、久慈川や真崎浦沿いの丘陵部に、貝塚などの遺跡がたくさん発見されています。

古墳時代のものでは、水鳥の線刻画や木棺痕が発見された、貴重な古墳が見られます。これにより、古墳時代には有力な豪族が、この地を支配していたことが分かります。室町時代には、真崎浦は景勝地として知られていました。中世連歌師の宗祇が、真崎浦の光景を歌に詠んでいることから分かります。

このように、東海村には貴重な文化財や水



伝統の「鮭の流し刺し網漁」の様子

辺の文化的景観、伝統的な行事や食文化などが数多く残されています。これらを紹介していくために、有志と「水辺のムラ研究会」という団体を立ち上げ、水を畏れ、水を活かして生活してきた人々の暮らしを検証しながら、水辺の文化的景観や、歴史的文化的財の保護保存に努めています。今年度は、次のような活動を行いました。

10月4日、久慈川に今も残る伝統漁法「鮭の流し刺し網漁」の見学会を開き、

漁の後には参加者と共に、伝統料理の焼き鮭・あら汁に舌鼓を打ちました。10月25日には、真崎浦干拓を行った西野長治郎宅に残る回遊式庭園跡で、「縄文から平成までのタイムトラベル」と題し、真崎浦周辺の歴史と、干拓後の人々の苦労や暮らしの様子に関する資料、当時の農機具などを展示したほか、真崎浦干拓を進めた真崎浦排水機場の見学を行いました。

このように、東海村に残る数多くの文化財を村民の皆さんに伝えながら、守り、残していく活動を続けていきたいと考えています。

東海村文化財保護審議会委員

寺嶋 弘文